

きそさき 議会だより

VOL. **92**
2017
平成29年8月1日発行



今回の表紙(めりえ)



中部幼稚園・保育園
むらかみ ももなさん
の作品

おもな内容

- 第2回定例会 **2~5**
- ここが聞きたい【一般質問】 **6~9**
- 議員トピックス **10~11**
- 議会日誌 **11**
- 所信表明 **12**
- 可決議案の内容 **13~15**

一般会計補正予算



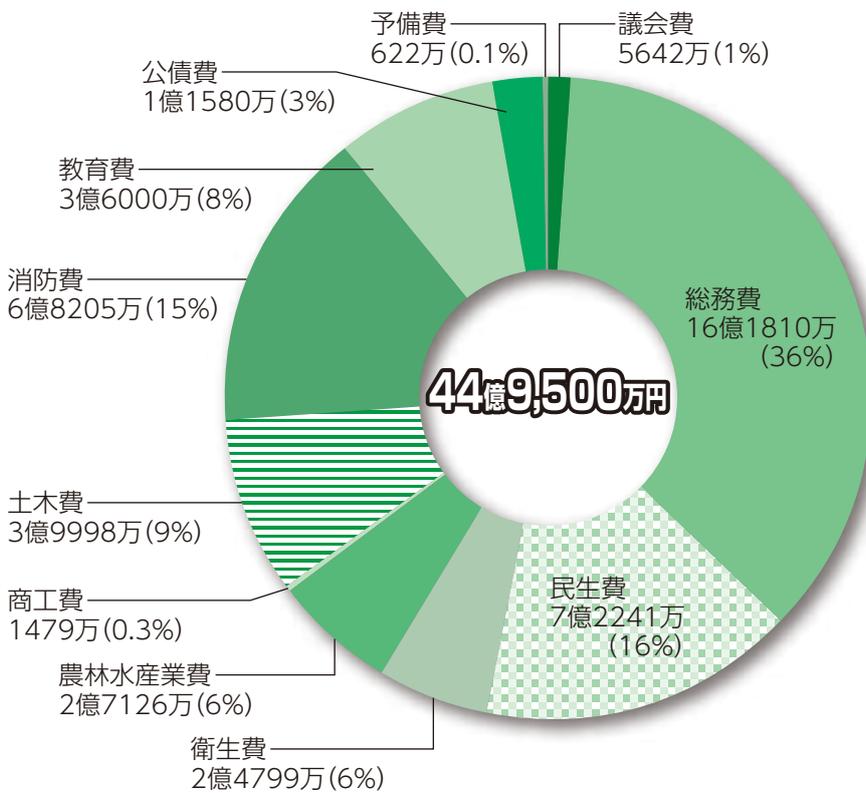
歳入歳出に1億500万円を追加し

予算総額 44億9,500万円は!

骨格予算から本格予算へ移行
44億9,500万円

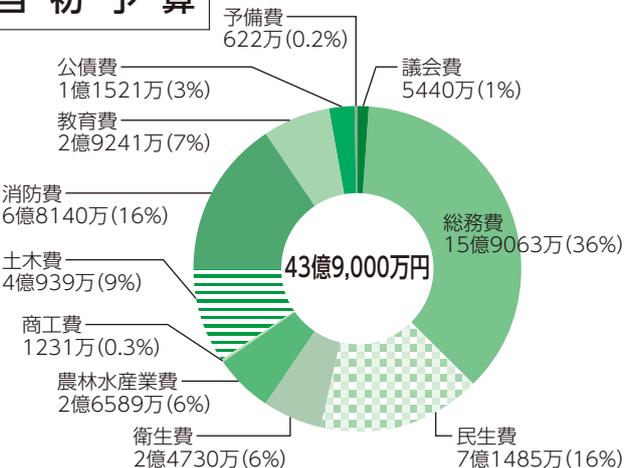
平成29年
第2回

**木曾岬町議会
定例会**

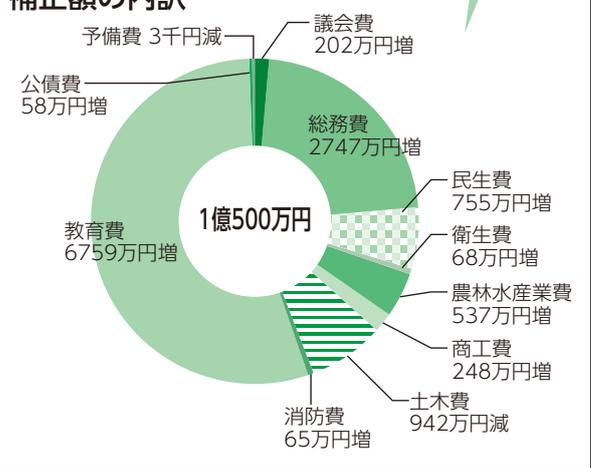


複合型施設建設に関する
教育予算が
約6,700万円にのぼる。

当初予算



補正額の内訳



※万単位で四捨五入されているため合計とは一致しません。

完成間近の教育文化棟



建設中の町民ホール、 図書館の備品関係等に 5,000万超の予算

今年11月の完成を目指して現在建設中の町民ホール、図書館について今回の定例会では大幅な予算補正がありました。

町民ホールについては、スタッキングスツール115脚、演台、グランドピアノ等の備品購入に738万円。

また図書館は什器関係、学習スペースに配置するデスクや椅子の他、一般図書、児童図書を購入するための備品購入費として4,710万5千円。

他、図書館利用者カードの印刷代、司書の委託料等合わせると5,000万円を超える予算が計上されました。

主な歳入補正	• 地方創生推進交付金	750万円
	• 社会保障・税番号制度システム整備費補助金	41万円
	• 社会資本整備総合交付金	△2,416万円
	• 教育費寄附金	100万円
	• 財政調整基金繰入金	11,800万円

主な歳出補正	• 複合型施設、図書館、町民ホール備品購入費	5,880万円
	• 木曾岬わいわい市場における三重大学との人材育成プログラム共同研究費	1,530万円
	• 町道鍋田川線整備工事費用、修繕工事費用	860万円
	• 中部幼稚園・保育園プール購入費、園庭・駐車場拡張工事設計委託料	530万円

議案質疑

(質疑が行われた議案に関して、
主な内容を紹介します。)

質問 委託先はバスの運行者等ではなく別の事業者なのか。

回答 システム管理については運行事業者ですが、運行事業者から外部へ委託して専門的にみてもらうことになっています。

質問 AEDの購入がわかっていたならなぜ補正予算で計上しているのか。

回答 リース契約をしており当初はリースの延長を考えていたが、行政全体で考え買取することになったためです。

質問 児童福祉費、保育所費の実施設設計委託料の内訳は。

回答 中部幼稚園・保育園の駐車場及び園庭の見直しに伴う設計委託料です。現在、行事の開催時において保護者の方々から手狭とのご意見が多く、行事開催時に支障をきたさないような遊具の配置替えや園庭及び駐車場の拡張を計画しています。また、外構の整備工事も計画しています。

質問 総務管理費、企画費の委託料930万円の内訳は。

回答 木曾岬町わいわい市場人材育成プログラムのための三重大学との共同研究に700万円、新たな拠点整備事業に230万円です。700万円の主な内訳として、プロデュース料、ゲスト、講師招聘料、大学生の交通費、企画の運営費、ポスターデザイン、印刷製本費などのPR費用、キッズデザイン賞に向けて子どもたちの取組みを事業申請していくための費用、子どもたちに配るジュニア観光大使の名刺の商品化の経費などです。新たな拠点整備事業については人材育成、組織づくり、基本構想を作成するための座談会の発足と整備手法の検討のための業務委託料を計上しました。

質問 新行政不服審査制度対応支援業務委託料の内容は。

回答 行政不服審査法の大幅な改正に伴い、今後申請の増加が予測されるため新制度の内容を職員が理解するための研修、行政不服審査法全般の運用について町としてのマニュアル設定の委託をします。

■議案第31号

「平成29年度三重県桑名郡木曾岬町一般会計補正予算(第1号)について」

質問 図書館費の備品購入費の内訳は。

回答 什器関係が約3,100万円で内訳は雑誌架、新聞架各1台、木筋書架15台、児童図書コーナーの書架2台、キャレルデスク25席、案内サイン、受付カウンターであり、図書館開館時2万冊の配架に不足する7,000冊の購入費として約1,600万円を計上しています。

質問 図書館業務委託料の219万7千円は司書5か月分と聞いたが多額では。

回答 常勤司書1名を配置する費用です。

質問 自主運行バス運行事業委託料の詳細な内容は。

回答 当町が所有している4台の自主運行バスそれぞれの車外の前方と車内の2箇所にドライブレコーダーを設置します。平成28年に発生した軽井沢のスキーバスの事故によって、国土交通省において対策検討委員会が設置され、その中で貸切バス事業者にドライブレコーダーの設置を今後義務付けていく内容の方針が示されました。この映像を活用して指導、監督を実施することを事業者に義務付けることで更に安全性を高めるためです。当町の自主運行バスは貸切バス事業に該当はしませんが、安全性を高めるために方針に従って設置をする方向で計上しました。

質問 ドライブレコーダーを購入するのになぜ委託料として計上しているのか。

回答 機器の購入だけではなく、機器を使って映像の記録、保存、システムの調整、映像を使用して運転手に対する指導、監督等一連の安全管理業務を行うためです。

回答 活動内容がすべての地域の農業推進委員さんで一緒というわけではないので、活動内容における日数を根拠として日額報酬としました。

質問 基本給は条例化して数字が出ているが、能率給だけは規則で定める理由は。

回答 能率給の支給については国の通達で細部はそれぞれの市町において定めることとなっています。支給に関することについては規則で決めさせていただきます。

■議案第36号

「木曾岬町北部地区津波避難タワー建築工事契約について」

質問 当初予算の1億4,353万円と今回予定価格の1億5,580万円の差は。

回答 概算設計と発注時の予定価格を組んだ時の単価の取り方の基準日の違いです。

質問 一般競争入札と事後審査型でどれほどの違いがあるのか。

回答 一般競争入札は基本的に事後審査型を適用しています。業者に入札に参加いただいて、入札結果が整った後で資格審査をする。一般競争入札は通常このような形が多いと考えます。

質問 中部幼稚園・保育園の駐車場でできるとのことだが、今回の補正で駐車場が拡大される整備工事との兼ね合いは。

回答 既存の駐車場の一番南側の水路側に設置する予定で、当然ご迷惑をかけることになると思うが、現状より少し台数を減らすことと、今の駐車場とまた別のところに駐車場ができると聞いております。

質問 収容人数450人ということだが対象地域はどこからどこまでか。

回答 一時避難所なので原則はありませんが、見入地区、辰高地区を含めた北部一帯のところの方のための避難所と考えております。

■議案第32号

「木曾岬町個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について」

質問 情報提供ネットワークシステムが使用可能となり、運用が拡大されるという解釈か。

回答 これまでの法定事務のみで使用できていたものが、改正によって条例事務でも利用できることになり拡大されることになります。

質問 拡大することによって情報漏えいの危険、自治体事務の煩雑さ、住民への影響は。

回答 情報提供ネットワークシステムの中で取り扱われる情報は一般の住民の方に提供するものではなく、こういった事務に従事する自治体、国の機関等が使用するもので、情報漏えいはないと考えられます。自治体職員が情報漏えいのミスをすることも考えられますが、安全基準、公表基準を徹底することで対応は可能と思われれます。

■議案第33号

「木曾岬町委員会の委員等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について」

質問 能率給はどのように支給されるのか。

回答 今回の一部改正にあわせて支給に関する規則を施行する予定です。国によって決められた活動内容に応じた活動があった場合に支給するというもので統一して適用されます。

質問 一般企業のように営業成績や資格取得など頑張った人にたくさん能率給がもらえるというシステムではないということか。

回答 国が定める活動内容があったかの報告は必要です。一例として最適化業務活動日誌というものをつけて記録をとり、この記録に基づいて実績に応じて予算の範囲内で支給するということになります。

質問 農地利用最適化推進委員はなぜ日額報酬なのか。

1111が
聞きたい

一般質問

この記事は、通告順に掲載し、

質問議員本人が作成した原稿を

議会広報常任委員会が編集したものです。

なお、掲載文は紙面の都合で要約されておりますが、

一般質問の全文は

木曾岬町議会会議録(北部公民館にて公表)で

ご覧いただけます。

3名の議員が質問

↑シ数 7 — 8 番議席 中川和子議員

● 個人番号制度について

● 国民健康保険について

● 商業・観光等拠点整備事業について

↑シ数 8 — 3 番議席 加藤真人議員

● 道路問題に対して今後の取組みは

↑シ数 9 — 6 番議席 三輪一雅議員

● 町長の公約について

Q&A



一般質問



8番議席 **中川和子** 議員

個人番号の提出は、個人の判断に任せるべきでは？

提出の強要はできないとされています

 町長

質問

過去に何度も廃案に追い込まれてきた国民総背番号制度が、社会保障・税番号制度と名称を変え、国民の利便性の向上、行政運営の効率化をうたい文句に、導入されて1年8ヶ月ですが、当町での通知カードの郵送及び個人番号カードの普及状況はどのようになっていますか。

答弁

通知カードは全住民に配達記録で郵送し、対象世帯2,331件中153件分の返戻がありましたが再通知などで現在では16件分を保管。個人番号カードは、総交付枚数528枚、交付率82%です。

再質問

まだ全員に届いていない—これは全国的には百万単位で起きている事態です。普及率は、昨年10月の段階から少しは引き上げられていますか、費用対効果についてはどう考えますか。

再答弁

山田住民課長

国の制度に従って行っていますので、ご理解いただきたいと思えます。

質問

源泉徴収票作成事務の為、番号提出を町民に求める場合、あくまで個人の判断に任せるべきだと考えますが、いかがですか。

答弁

事務所には機関に従業員等の番号提出の義務があります。一方で提出の強要はできないとされているので個人の判断に委ねられていると捉えることもできると考えます。

質問

事業所への住民税の特別徴収の通知書ですが、今回当町で起きた誤送付の問題は、番号を記載しなければ起こらなかったのではないですか。番号を会社に知らせていない人にとっては人権侵害にも当たります。番号記載について当町ではどの様に判断され

たのですか。

答弁

藤井税務課長

法令に従って、本年度通知をしたものです。

再質問

法に従ってやっている事は重々承知してはいます。がそれでも各地では大変なことだということで、名古屋市は不記載、近隣市ではいなべ市が不記載、桑名市はアスタリスク（*印）に変更。こういう状況を勘案されましたか。

再答弁

藤井税務課長

近隣市町の状況については、先日県からの情報では、高市総務大臣が記者会見の中で、その様な市町があるが、大臣の意見はどうでしょうかとということで述べられているので、それを引用して答弁とします。大臣のコメントでは、不記載や一部記載は法令上認められておりません。しかし記載しない市区町村が見受けら

れることから、先般5月18日に改めて通知を出し、各地方団体に適切に対応するよう促しましたということ、大臣は答弁されております。



他に国民健康保険について、商業・観光等拠点整備事業についても質問して



道路問題に対して、 今後の取組みについて

関係機関と連携し環境問題等々、
道路整備の推進を図っていききたい——町長



3番議席 **加藤眞人** 議員



→ 川西農面

質問

川西農免、三崎加路戸線が出来ていますが、現在加路戸丁字路で終了して旧道を使用して弥富方面へ抜ける状態です。農免の新たに延長線の主要道路を考えておられるのか。

答弁

川西幹線北端の加路戸横断線、県道交差点付近は道路幅が狭い状況です。上加路戸内部線全区間で車両の対向に苦慮しており、対策が必要であると認識しています。

質問

国道23号線より源緑線バイパス道路ですが、その先の延長道路、弥富木曾岬インターへの乗入れ道路への考えは。また、国道23号線三崎地内の信号交差点では、信号渋滞を避けるため手前の三崎インターから迂回路として三崎農道を利用され、地域住民は不便な思いをしています。町としてどのような対応を考えているのか。

答弁

伊勢湾岸、弥富木曾岬インターチェンジは当町に隣接する弥富地内にあり、鍋田川左岸側に整備されています。現在愛知県では国道1号、23号と交差し、弥富木曾岬インターへアクセスする都市計画道路の整備を進めています。これまで、町では弥富市や三重県と連携協力し、愛知県に当道路の必要性を訴えているところですが、引き続き関係機関と連携し、早期完成の要望等を行っていきます。

質問

雁ヶ地福崎線の本曾岬インター取付工事が工事中であります。今後の工事状況は。

答弁

雁ヶ地福崎線及び国道23号線三崎交差点への取り付け工事について、雁ヶ地福崎線は町の事業として、また23号線三崎交差点への取り付けについては、県道木曾岬弥富停車場線バイパスを北伸する事業として三重県においてそれぞれ国の補助を受け整備をすすめているところです。一方国においても厳しい財政状況にあり、道路予算の確保に苦慮しています。町としては最優先事業として、早期完成を目指しています。本年度は県道本線部の盛り土工事も一部着手する予定と聞いております。並行して交差点部の工事を国土交通省に施行委託するための調整をすすめています。バイパス事業の着実な推進並びに早期完成を様々な機会を捉えて要望活動をさらに展開していきたいと考えてお

← 雁ヶ地福崎線



ります。

再質問

国道23号線交差点からバイパス道路と川西農免道路は一貫性があり、道路アクセスは一番大事な問題だと思えます。しっかりと計画してほしい。

再答弁

浅野建設課長

川西農免延長については、事業としての計画は一旦終わっている状況です。現場を注視しながら将来の道路計画に反映していきたいと考えております。

一般質問



6番議席 **三輪一雅** 議員

町長の公約について

安心安全の住みよい町、活気のある元気なまちづくりを目指していきます
町長

質問

さる4月23日の町長選挙は、結果的に無投票となりましたが、選挙にならなかつた分、町民の皆さんから信任を受けたとは言えないまでも、対立候補が出なかつたということは、2期8年の加藤町政に対して一定の評価を受けたという見方もできるかもしれません。しかし選択肢がなければ、やはりその評価は見えづらい部分でもあるわけです。

町長は今回の選挙の前に、基本政策3つの柱として「住みよいまちづくり、元気なまちづくり、伸びゆくまちづくり」を公約とし掲げられているようですがこれらは具体的な施策はどのようなものを考えられていますでしょうか。また、1期目の終わりに

は、公約を含めた各施策の達成率を公表されたものの、2期目にはそれがありませんでした。既に3期目の町政は動き始めましたが、これについてはどのように考えられていますでしょうか。

答弁

初心を忘れず、町民主体の町民のための町政、誠実に透明で公平公正な信頼の町政をモットーに、安心安全の住みよい町、活気のある元気なまちづくりを目指し、未来に向かって木曾岬町発展のために全力を挙げていきたいと申し上げてまいりました。特に最優先で取り組んできた避難施設や複合型施設の完成させることで町民の皆さんの期待に応えることが第一でございます。防災・減災対策は、ハード整備とともに

ソフト対策がより大事でございまして様々な取り組みをしていきます。

その上で、今後の町の発展に欠かすことのできない道路整備については利便性を高め、一体的な地域づくりを図っていきます。

また、当町は大都市近郊の町で農村と都市の魅力があり、地域資源を生かし産業や観光の振興と交流などの拠点をつくり、町の活性化を図ってまいります。未来を担う子どもや若者がこ

の木曾岬町に魅力を感じ、愛着を持ってくれるように、幅広く活動を展開。

人口減少や少子高齢化が進むなか、住み続けたい、住みたい町につながるように、新たな企画や仕掛けを積極的に展開していきたい。

2期目の各施策の評価については、計画に沿って実現し、一定の成果は上がっていると考えておりまして、一部を除いては全体的な評価はいただけるのではないかと思っております。



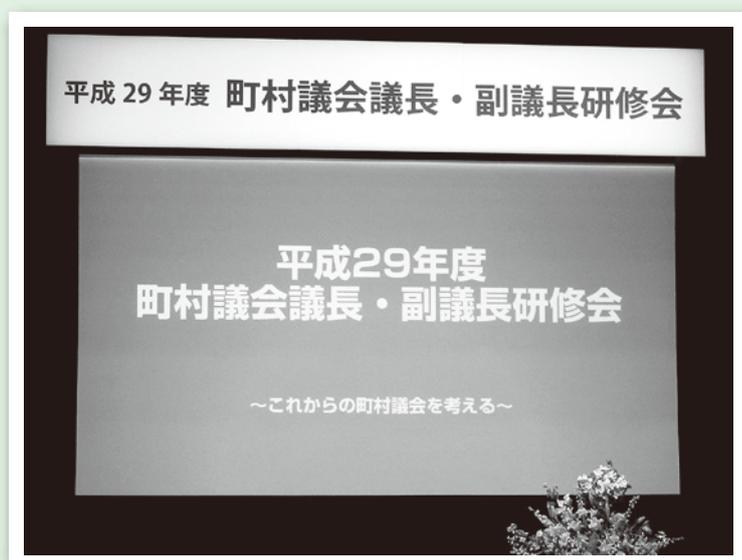


新人3議員研修会に参加

5月26日(金)に町村議会議長会主催の新議員研修会が津で開催され、当町から今回の町議会選挙で初当選した3名の議員が参加。「議会の基礎知識」についての研修を受けました。

平成29年度全国町村議会議長・副議長研修会に参加

5月31日(水)東京都中野区の「中野サンプラザホール」で、平成29年度全国町村議会議長・副議長研修会が開催され、伊藤好博議長・伊藤律雄副議長が出席。

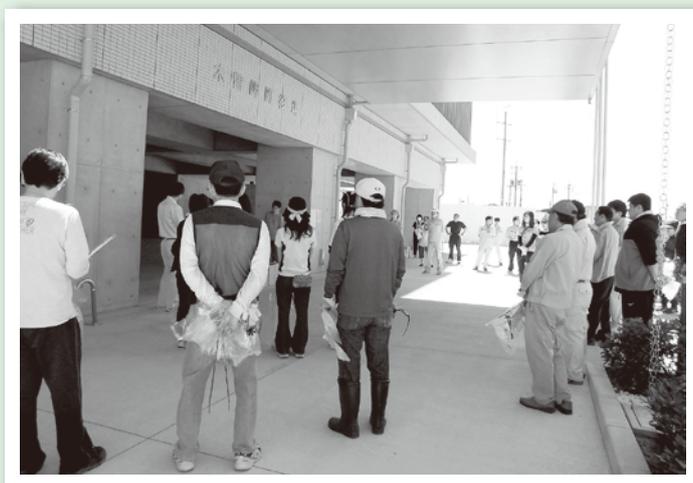


町内一斉清掃活動に参加

6月4日、恒例となりました「町内一斉清掃活動」に議員も参加し、主要道路などに落ちていた空き缶などのごみ拾いを行いました。

早朝より多くの町民の方にご参加いただき、お住まいの地域周辺の美化に向けて積極的に取り組まれている姿を見かけました。

今後とも、地域の環境美化にご協力をお願いいたします。



行政視察を実施しました

6月16日(金)、木曾岬町議会第2回定例会の閉会后に、行政視察として桑名広域清掃事業組合を視察。

桑名広域清掃事業組合は現在RDF化施設とリサイクルプラザで運営されていますが、平成33年4月からは、新たに可燃ごみや可燃性粗大ごみの新焼却施設と生まれ変わるため、現在のRDF施設から新焼却施設への移行経緯や新施設の概要の説明を受けました。



議会日誌

2017 4月

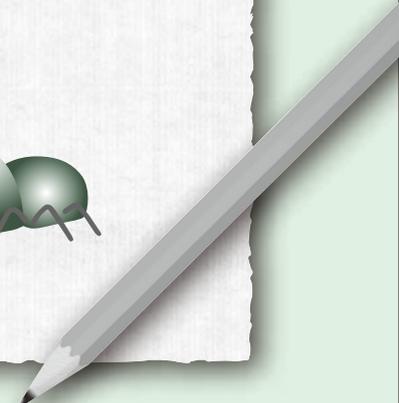
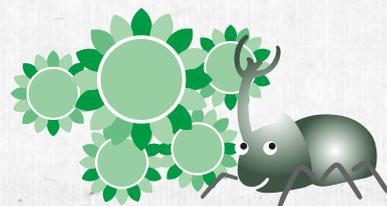
- 16日 ● 東員町市政50周年記念式典に伊藤好博議長出席
- 18日 ● 木曾岬町長・町議会議員選挙告示
- 23日 ● 木曾岬町議会議員選挙
- 24日 ● 議会議員当選証書交付
- 27日 ● 三重県町村議会議長会理事会・説明及び意見交換会に伊藤好博議長参加

2017 5月

- 12日 ● 初議会前の議員懇談会
- 18日 ● 平成29年第1回臨時会
 - 初当選議員研修会
- 19日 ● 例月出納検査に伊藤律雄監査委員出席
- 24日 ● 木曾岬町商工会総会に伊藤好博議長、服部英二夫総務建設常任委員長出席
- 25日 ● 桑名・員弁広域連合 出納検査に伊藤律雄副議長出席
- 26日 ● 桑名広域清掃事業組合臨時議会に伊藤好博議長出席
 - 議会議員新人議員研修
- 30日 ● 木曾岬神社春季例祭に議員参加
- 31日 ● 全国町村議会 議長・副議長研修会に伊藤好博議長、伊藤律雄副議長参加

2017 6月

- 1日 ● 議会運営委員会
- 4日 ● 町内一斉清掃活動に議員参加
- 5日 ● 桑名地区生活安全協会通常総会に伊藤好博議長出席
- 7日 ● 平成29年第2回定例会（開会日）
 - 全員協議会
- 12日 ● 例月出納検査に伊藤律雄監査委員出席
- 13日 ● 平成29年第2回定例会（一般質問）
 - 議会運営委員会
- 15日 ● 木曾中フェスティバル(体育的行事)に議員出席
- 16日 ● 平成29年第2回定例会（最終日）
 - 桑名広域清掃事業組合へ行政視察



所信表明

(要旨)



加藤 隆 町長

改選後初の町議会定例会にあたり、私の所信の一旦を申し上げます。3期目の町政にあたり、私は、初心を忘れず、町民主体の町民のための町政、誠実に透明で公平公正な信頼の町政をモットーに、安心安全の住みよいまち、活気のある元気なまちづくりを目指し、全力をあげ、町政の推進をはかって町民の皆さんの信任に応えてまいりたいと決意を新たにしているところです。まず、2期目に最優先で取り組みました避難施設と複合型施設の建設工事を完成し、町民の皆さんのご期待に応えることが第一でございます。河川防災ステーションと水防センター、津波避難タワーなどと合わ

せて複合型施設が完成いたしますと、町民の皆さん全員が避難していただくことができません。しかしながら防災・減災対策はソフト対策がより大事です。子どもさんから高齢者まで地域や団体、企業などの自主防災力の充実、強化とともに広域避難の連携協定を図り、また、防災行政無線戸別受信機のデジタル化更新などソフト、ハード両面にわたって整備をし、安心安全のまちづくりの基盤をしっかりと作ってまいります。

今後の町の発展に欠かすことのできない道路整備については、難題山積であり、時間はかかると思いますが、南北の縦軸と愛知県側の東西の道路アクセスを図り一

体的な地域づくりと利便性を高め、木曾岬町発展の道を切り開いていかなければなりません。当町は都市近郊の町であり農村と都市の調和のとれた環境と景観づくりによって快適な生活環境を創造し、明るく住みよいまちづくりを目指してまいります。

また、私も木曾岬町には木曾川や伊勢湾などの恵みを受けた自慢の特産物や観光資源としての桜があり温泉もございます。立地としては、都市近郊で港に近くさらに広大な木曾岬干拓があり、豊富な地域資源を生かして産業と観光の振興、そして交流などの拠点づくりをすることによって町の活性化を図ってまいります。

町の活気や元気にはその町の産業経済の元気とその町に住む町民の皆さんの元気がございます。教育やスポーツ、文化の振興と子育て支援や健康づくりに介護予防など福祉の充実を図り子どもから高齢者まで元気な人づくりに力を注ぎ、未来を担う子どもや若者が生まれ育ったこの町に魅力を感じ愛着を持ってくれるように幅広く活動を展開し、コミュニティ活動や団体活動を通して町民の絆を深めていきたいと考えています。

私どもの町は小さな町ですが、大きな町にはない、小さい町だからこそその良さと強みをしっかりといかしていきたいと考えます。

今一つは人口減少と少子高齢化が進むこの時代認識と将来の木曾岬町を見据え、第5次総合計画、地方創生人口ビジョン総合戦略、都市計画マスタープランを3つの柱として未来に向かって魅力のある元気なまちづくりを目指してまいります。

と考えています。地方創生事業の一環として若手職員らがワーキンググループを立ち上げ、アドバイザーや三重大学との連携によって子ども達や中学生に参加を呼びかけ、新たな挑戦を始めてまいります。

木曾岬町に魅力を感じ愛着を持って住み続けたい、住みたいまちにつながる様々な企画を積極的に展開してまいります。複合型施設を未来に向かって伸びゆくまちづくりの拠点とし、町民の皆さんとともに明るく住みよい元気なまちづくりを目指し、木曾岬町のさらなる発展のために全力をあげてまいります。なにとぞ町民の皆さん並びに町議会の皆さんのご指導ご鞭撻を賜りますようお願いを申し上げます。

議件名（議案の内容）

◎承認

■承認第1号

専決処分事項の承認を求めることについて（木曾岬町消防団員等公務災害補償条例の一部改正について）

※「非常勤消防団員等に係る損害補償の基準を定める政令の一部を改正する政令」の施行に伴い、国に準じた内容への条例改正について専決処分したことへの承認。

■承認第2号

専決処分事項の承認を求めることについて（木曾岬町税条例等の一部改正について）

※平成29年度の税制改正において、地方税法等が一部改正、施行されたことに伴い、町税条例の一部改正について専決処分したことへの承認。



*6月定例会の前に

5月18日に町議会議員選挙後の臨時会が開かれ、議長、副議長、各常任委員長など議会構成が決定するとともに、同意1件、承認2件の計3件が原案のとおり同意、承認となりました。

可決議案の内容

議件名（議案の内容）

◎同意

■同意第1号

木曾岬町監査委員の選任につき同意を求めることについて

※任期満了に伴い議会議員から新たに伊藤律雄氏を監査委員に同意。

臨時会各議員の賛否

議案等の審議結果です。賛否の分かれた議案のみを表示しており、他の議案は全て全会一致で賛成とされています。○は賛成、×は反対、欠は欠席を表示しています。

※議長は裁決に加わらない。ただし、可否同数の場合は議長採決となります。

議案番号	議案名	議員名	鎌鷹	田介	伊厚	藤厚	加眞	藤人	服部	三輪	伊藤	藤雄	中川	川子	伊藤	藤博	審議結果
承認第1号	専決処分事項の承認を求めることについて（木曾岬町消防団員等公務災害補償条例の一部改正について）		○		○		○		○		○		×		—		原案可決
承認第2号	専決処分事項の承認を求めることについて（木曾岬町税条例等の一部改正について）		○		○		○		○		○		×		—		原案可決

可決議案の内容

議件名（議案の内容）

◎執行部議案

（初 日）

■議案第31号

平成29年度三重県桑名郡木曾岬町一般会計補正予算（第1号）について

※既決予算額に歳入歳出それぞれ105,000千円を追加し、予算総額を4,495,000千円とする補正予算。



6月定例会は、7日から16日までの会期10日間で開催し、平成29年度の一般会計補正予算案や条例改正案など議案6件、報告4件、同意10件、選挙1件の合計21件の審議をそれぞれ行い、全議案とも原案のとおり可決となりました。

一般質問では19名の方が傍聴する中、3人の議員が質問しました。（その内容は6ページからの「ここが聞きたい一般質問」を参照）

議件名（議案の内容）

※継続費予算の承認をしている複合型施設建設事業の平成29年度への繰越額が確定し、議会に報告。

■報告第2号

平成28年三重県桑名郡木曾岬町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について

※平成28年度予算で繰越明許費の承認をしているマイナンバーの交付事業、地籍調査、湛水防除事業それぞれの平成29年度への繰越額が確定し、議会に報告。

■報告第3号

平成28年度三重県桑名郡木曾岬町公共下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書の報告について

※平成28年度予算で繰越明許の承認をしている公共下水道事業特別会計の平成29年度への繰越額が確定し、議会に報告。

■報告第4号

平成29年度木曾岬町土地開発公社事業計画及び会計予算並びに平成28年度木曾岬町土地開発公社事業報告及び会計決算報告について

※地方自治法の規定により町が出資している土地開発公社の予算、決算、経営状況等の報告。

◎同意

■同意第2号

木曾岬町固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて

※任期満了に伴い、木曾岬町固定資産評価審査委員会委員として、服部 満氏を選任。

■同意第3号～同意第11号まで

木曾岬町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて

※農業委員会等に関する法律が改正され、農業委員の選出方法が変更されたことにより、新たな委員を選任。

委員として岡村 昇氏、平松和憲氏、伊藤正人氏、花井豊彦氏、山田徳仁氏、藤井保之氏、丹村 巧氏、大橋光則氏、岡村なつ枝氏を選任。

議件名（議案の内容）

■議案第32号

木曾岬町個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について

※個人情報の保護に関する法律及び行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律、いわゆる番号法の法改正に伴い、町条例の該当する字句の修正、適用条項のずれの改正。

■議案第33号

木曾岬町委員会の委員等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について

※農業委員会等に関する法律の改正により農地利用最適化交付金が創設され、土地利用最適化推進委員に能率給を支給することから、該当条例の改正。

■議案第34号

木曾岬町夢とふれあい教育基金条例の一部を改正する条例の制定について

※町内企業の方から教育振興にとご寄附をいただき、これを基金に積み立てるために所要の条例改正。

■議案第35号

木曾岬町道路占用料徴収条例の一部を改正する条例の制定について

※この度ガス事業法が改正されこれを引用している字句、条項等の改正。

◎執行部追加議案

（最終日）

■議案第36号

木曾岬町北部地区津波避難タワー建築工事契約について

※木曾岬町北部地区津波避難タワー建築工事を契約するにあたり、工事予定価格が5,000万円以上となるため議会の議決要件。

◎報告

■報告第1号

平成28年三重県桑名郡木曾岬町一般会計継続費繰越計算書の報告について

※地方自治法の規定及び三重県後期高齢者医療広域連合規約の規定により連合議会議員の選挙を行い、木曾岬町長 加藤 隆氏を選出。

◎選挙

■選挙第5号

三重県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙について

定例会各議員の賛否

議案等の審議結果です。賛否の分かれた議案のみを表示しており、他の議案は全て全会一致で賛成とされています。○は賛成、×は反対、欠は欠席を表示しています。

※議長は裁決に加わらない。ただし、可否同数の場合は議長採決となります。

議案番号	議案名	議員名	鎌田 伊藤 加藤 藤人 服部 三輪 伊藤 藤雄 中和 川子 伊藤 藤博	審議結果						
議案第31号	平成29年度三重県桑名郡木曾岬町一般会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	×	—	原案可決
議案第32号	木曾岬町個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	×	—	原案可決
議案第34号	木曾岬町夢とふれあい教育基金条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	×	—	原案可決

なお、紙面の都合で討論の詳細内容の記載を割愛いたしておりますが、反対討論並びに賛成討論の内容は、木曾岬町議会議録(北部公民館にて公表)でご覧いただけます。

みなさまのご意見を募集しています。

議会に対して、普段、感じていること、疑問に思うこと。

また、要望など、どのような内容でも結構です。ご意見、ご質問をお寄せください。

問合せ先 議会広報常任委員会(議会事務局)
TEL 68-6108 FAX 66-3111
E-mail gikai@town.kisosaki.mie.jp

◆政務活動費について

政務活動費は政策の調査・研究等の活動を行うために議会の議員に対して支給される費用です。

木曾岬町議会では政務活動費の定めが無く支給されていません。

議会をぜひ、傍聴にきてください。

議会は、どなたでも傍聴することができます。

皆様の生活に直結した重要な問題が審議されます。お気軽にお越しください。

本会議の当日、議会場入口で傍聴の受付をしています。受付は、ご住所とお名前を記入していただくだけです。

次回、9月定例会、本会議の予定です。

- 9月 7日(木) 午前9時 開会、議案上程を予定しています。
- 9月20日(水) 午前9時 一般質問を予定しています。
- 9月22日(金) 午前9時 議案採決、閉会を予定しています。

なお、各日程等は変更する場合がございますので、お手数ですが議会事務局までお問合わせいただきますようお願いいたします。

編集後記

ご存知でしょうか。議会だよりは役場が作っていると思われている方が多いと聞くと、ころなのですが、実は議会広報常任委員会所属の議員が編集作業を行っています。

そしてこの度、新しい議会がスタートし、議会だよりも少し新しくなりました。

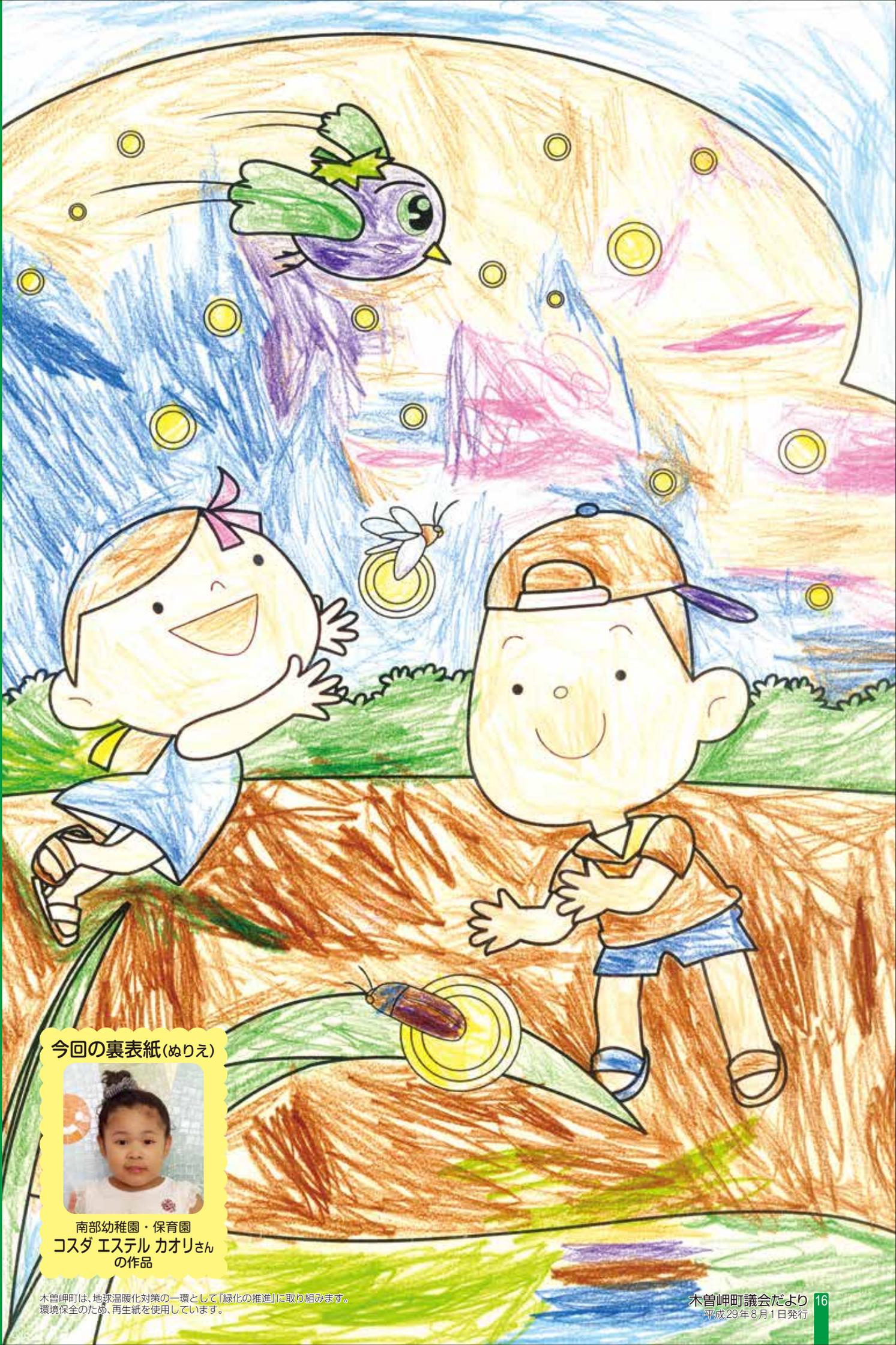
「見やすい読まれる議会だより」をコンセプトに、今知って頂きたいことを前面に出し、関心をもってもらえるような誌面づくりを意識しています。

新たな一歩ですが、今後も皆さんと共に議会だよりを進化させて行きたく、ぜひご意見も頂ければと思います。

さてここに、第92号の議会だよりをお届けします。紙面へのご意見、ご感想などをお待ちしております。

議会広報常任委員会一同





発行／三重県桑名郡木曾岬町議会
編集／議会広報常任委員会

〒4398-8503 三重県桑名郡木曾岬町大字西刈海地251番地
☎(0567)68-6108(直通) FAX(0567)66-3111
E-mail: gikai@town.kisosaki.lmie.jp

今回の裏表紙(めぐりえ)



南部幼稚園・保育園
コスタ エステル カオリさん
の作品

木曾岬町は、地球温暖化対策の一環として「緑化の推進」に取り組みます。
環境保全のため、再生紙を使用しています。